

令和2年7月21日

於 教育委員会室

令和2年7月

大和市教育委員会定例会

大和市教育委員会

令和2年7月大和市教育委員会定例会

○令和2年7月21日（火曜日）

○出席委員（5名）

1番	教育長職務代理者	青 蔭 文 雄
2番	委 員	小 松 俊 子
3番	委 員	森 園 廣 子
4番	委 員	前 田 良 行
5番	教 育 長	柿 本 隆 夫

○事務局出席者

教 育 部 長	佐 藤 健 二	文化スポーツ 部 長	井 東 明 彦
教 育 総 務 課 長	佐 藤 則 夫	学 校 教 育 課 長	溝 口 広 幸
指 導 室 長	高 井 文 子	教 育 研 究 所 長	中 村 美 紀
図 書 ・ 学 び 交 流 課 長	柴 田 豊		

○書 記

教 育 総 務 課 政 策 調 整 係 長	山 田 智 之	教 育 総 務 課 政 策 調 整 係 主 査	川 井 克 己
-----------------------------	---------	-------------------------------	---------

○日 程

- 1 開 会
- 2 会議時間の決定
- 3 会議録署名委員の決定
- 4 教育長の報告
- 5 議 事
日程第 1 (議案第35号) 令和2年度大和市奨学生の決定について
日程第 2 (報告第 3号) 令和2年度大和市教育費補正予算案について
日程第 3 (議案第36号) 令和3年度使用中学校教科用図書の採択について
- 6 そ の 他
- 7 閉 会

開会 午前10時00分

○柿 本
教育長

ただいまから教育委員会7月定例会を開会いたします。

会議時間は正午までとします。

今回の署名委員は、3番、森園委員、4番、前田委員にお願いいたします。

それでは、続きまして、教育長からの報告をさせていただきます。

初めに、前月定例会以降の動きについて報告いたします。

7月14日には、教職員初任者研修で話をさせていただきました。今年の初任者に関しましては、新型コロナウイルス感染拡大のため、前例を見ない教職生活のスタートとなりました。そんな中でも、児童生徒を思う気持ちを第一に、教員としての責任を果たしてほしいとお伝えいたしました。3密を避け、小中学校で時間を分けての短時間での研修となりましたが、今までが書面開催であったため、初めての集合研修でしたので、参加者も緊張感を持って聞いておりました。

16日には、今年度2回目となる大和市総合教育会議が開催されました。教育委員の皆様もご参加ありがとうございました。今回は、新型コロナウイルスによる学校休業期間の子どもたちの様子を振り返った上で、再開後の学校における感染防止対策を進めるための6月補正予算及び7月補正予算に係る学校教育関連事業を議題といたしました。

市長からは、会議の最後に、オンライン授業の活用など、新しい学びをどのように広げていけるのか、ビジョンや具体的な取組を聞かせてほしい、また、オンライン授業を初めとした、新しい形による教育にもぜひ積極的に取り組んでいただきたいという課題をいただきました。具体的な取組を早急に進めていきたいと考えております。

予定されておりましたその他の行事や会合につきましては、中止や書面開催となりました。

次に、新型コロナウイルスに係る学校現場の動きですが、7月1日より給食の提供を開始し、午後までの平常の日程で学校を再開いたしました。給食につきましては、担任を中心に少数で配膳ができるようにメニューを工夫しております。また、児童生徒一人一人が机に立てられる透明のパーテーションが学校に現在届き始めております。給食の時間にも活用していただき、安心して給食を楽しんでほしいと思っております。

学校では、マスク着用や手洗いの実施など、感染防止の徹底を図っておりますが、梅雨が明ければ一気に熱くなることから、熱中症も心配です。冷房を入れながらも、定期的にしつかり換気を行うなどの取組が求

められております。

また、3密を避けるため、教科によっては学習内容を制限しておりますが、感染状況を見極めながら、学校現場と今後も連携を取ってまいりたいと考えております。

最後に、次月定例会までの予定ですが、予定されておりましたものは現在中止となっております。

報告は以上でございます。

ただいまの報告に関しまして、委員の皆様から質疑等ございましたらお願いいたします。

(「何もございません」の声あり)

よろしいでしょうか。

それでは、ただいまの報告に対します質疑を終了いたします。

◎議 事

○柿 本 それでは、議事に入ります。

教育長 日程第1、議案第35号「令和2年度大和市奨学生の決定について」を議題といたします。

細部説明を求めます。

溝口学校教育課長。

○溝 口 よろしくお願いたします。

学校教育 初めに、先月の定例会におきまして、大和市奨学生のうち、現在の高校1年生の申請について、渋谷中学校からの申請者がいないことについてのご質問がございました。そのときはおりませんとご回答をさせていただきましたが、再度確認したところ、渋谷中学校から4名の申請者がいることが分かりました。誠に申し訳ありませんでした。この4名を含み、全申請者を対象に審査をさせていただきました。今後、同様のことがないように、細心の注意を払っていく所存でございます。申し訳ありませんでした。

それでは、議案第35号「令和2年度大和市奨学生の決定について」説明させていただきます。

資料を1枚おめくりください。

令和2年度大和市奨学生選考審査会が7月9日木曜日に行われ、3名の委員全員に出席していただきました。審査会にて、家庭の経済状況、学業成績、納税状況などを総合的に判断し、答申をいただいたところでございます。

3 ページ、4 ページになりますが、令和2年度、41名の新たな奨学生の答申を得ております。

また、5 ページ、6 ページに、現在高校2年生の受給者40名、7 ページに、現在高校3年生の受給者36名についても答申が得られました。

令和2年度は、申請者81名中、所得要件で32名、成績要件で2名、滞納等で6名が対象から外れ、41名の答申となっております。

同じく、高校2年生につきましては、50名の申請者中、所得要件等で10名が外れ、40名の答申となっております。

高校3年生につきましては、44名の申請者中、所得要件等で8名が外れ、36名の答申となっております。

また、奨学金を受給してありまして、令和2年3月に卒業された方々に卒業後の進路等の状況を今いただいているところでございます。また、何らかの形でご説明ができる機会があればと思っております。

今年度も実りのある奨学金になるよう、奨学生の決定についてご審議をよろしくお願いいたします。

以上でございます。

○柿本
教育長

細部説明が終わりました。

質疑の際は、個人情報に配慮をいただきますようお願い申し上げます。

それでは、質疑、ご意見等ございましたらお願いいたします。

○青蔭
委員

ただいまご報告いただきましてありがとうございます。

満たないという状況があったようでございますので、各学年におきまして、それぞれの方々が適した方々選ばれておられますので、ぜひ有効にお使いいただきまして、勉学にいそしんでいただきまして、先ほど課長から、進路につきましてこれからだと申しましたが、ぜひ、こういう形で学業の道を開かれている方ですので、ぜひ、その進路というものを知りたいですので、ぜひ、細かいご報告をいただければ幸いです。

各選ばれた方々に何の異存もございません。子どもたちが、生徒たちが、夢を持って歩んでいただければ幸いです。

○柿本
教育長

ありがとうございます。

今年度は資格要件のあるお子さんは全員認定されたということです。

ほかにないようでしたら、質疑を終結いたします。

これより議案第35号について採決いたします。

本件の原案について、ご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

異議なしということで、議案第35号は可決いたしました。

続いて、日程第2、報告第3号「令和2年度大和市教育費補正予算案について」を議題といたします。

細部説明を求めます。

佐藤教育総務課長。

○佐藤教育総務課長 報告第3号「令和2年度大和市教育費補正予算案について」でございます。

令和2年度大和市教育費補正予算案に関する地方教育行政の組織及び運営に関する法律第29条の規定に基づく意見の申出について、大和市教育委員会教育長に対する事務委任等に関する規則第2条第2項の規定によりまして、別紙のとおり教育長が事務を臨時に代理したので、同条第3項の規定により承認を求めるものでございます。

まず、歳出からご説明させていただきます。

10款教育費、1項教育総務費、2目事務局費の21、新しい生活様式等対応事務は、1億100万円の新規の補正となっており、新型コロナウイルス感染拡大を予防する新しい生活様式に対応するため、サーモグラフィーカメラ、飛沫防止パーテーション、消毒液自動噴霧器などの衛生用品や水道蛇口のレバーハンドルへの交換などが主な内容でございます。

続きまして、10款教育費、1項教育総務費、4目教育指導費の17、GIGAスクール端末事業は、4億2,830万7,000円の増額補正として、既に6月補正において、小学4年生から中学3年生分の予算化に加えて、7月補正では、残りの小学1年生から小学3年生までの端末について、来年の予定を前倒しして整備するものでございます。

続きまして、10款教育費、4項社会教育費、4目図書館費の3、図書カード配付事業は、1億9,933万5,000円の臨時的補正であり、外出を自粛している子どもたちの読書活動を推進することを目的とした事業でございます。

次に、債務負担行為の補正でございます。

北部及び南部の共同調理場と渋谷小、林間小の単独調理校の計4施設の給食調理業務委託契約が今年7月で満了するため、当初3年間の契約を予定しておりましたが、小中学校の臨時休業により、夏休みを短縮して授業を行い、8月もう一度給食を提供することとしたことから、業者の入替えが生じた場合に追加の確保が困難であることから、契約期間変更に伴います債務負担行為額の変更をするものでございます。

続きまして、歳入をご説明させていただきます。

16款国庫支出金、2項国庫補助金、6目教育費国庫補助金、1節教育総務費補助金の03、学校保健特別対策事業費補助金、新規に5,050万円の補正であり、新しい生活様式等対応事務に充当するものでございます。

16款国庫支出金、2項国庫補助金、8目新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金、1節新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の04、GIGAスクール端末整備事業補助金は、4億2,830万7,000円の増額補正でGIGAスクール端末事業に、05、新しい生活様式等対応事務補助金は、新規に5,050万円の補正であり、新しい生活様式等対応事務、08、図書カード配付事業補助金は、1億9,933万5,000円の新規の補正であり、図書カード配付事業に、それぞれ充当するものでございます。

説明は以上でございます。

- 柿本教育長
- 青蔭委員

細部説明が終わりました。

質疑、ご意見等ございましたらお願いいたします。

説明ありがとうございます。

歳出の事務局費の21、新しい生活様式等対応事務の備考欄、この用品等を購入いたしましたというところに、できればどんな物買ったかという具体的な物を明記していただくと、余計分かりやすいかなと存じますので、全部は結構ですから、主立ったものを、一番大きな金額の3項目ぐらい、是非入れていただけると余計説明が分かりやすくなると思いますので、よろしくお願いいたします。

- 柿本教育長

佐藤教育総務課長。

- 佐藤教育総務課長

ご指摘のとおり、この事業に関しまして、サーモグラフィーカメラと言いまして、体温を感知して、瞬時にその体温が測定できるものですか、先ほど申し上げました飛沫防止のパーテーション、アクリルのパーテーションの設置、あるいは電動の消毒液の噴霧器というようなものが主な物でございまして、また今後、感染の状況に応じて、必要な物をこの事業費から支出をさせていただきたいと考えています。

記載については、大変申し訳ございません、以上です。

- 柿本教育長

次回から、参考までに記載できるようにしたいと思います。

ほか、教育委員の皆様、何かございますか。大丈夫でしょうか。

ほかがないようでしたら、質疑を終結いたします。

これより報告第3号について、本件を承認することにご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

異議なしということで、報告第3号は可決いたしました。

次の日程第3、議案第36号ですが、議事運営上日程を変更し、その他の後に審議することといたします。

◎その他

○柿本
教育長

それでは、その他に入ります。

各課での報告事項について、順次報告してください。

まず、文化創造拠点等指定管理者の公募について。

柴田図書・学び交流課長。

○柴田
図書・
学び交流
課長

文化創造拠点等の指定管理者の公募について、幾らかお時間いただきまして、ご報告させていただきたいと思います。よろしくお願ひいたします。

お手元の資料に沿いご説明させていただきますが、平成28年11月に文化創造拠点シリウスが開館いたしました。シリウスを初め、市内の図書館及び学習センターは、現在指定管理者制度を導入しております。管理運営を行っております。

当初はシリウスのみで指定管理者による管理運営をスタートいたしました。その後、中央林間図書館やポラリスが順次開館いたしまして、その都度、指定管理者制度を導入してきたため、現在は、シリウス、中央林間図書館、そしてポラリス、4つ目が渋谷図書館を含めた地区学習センターという、この4つの塊で、また4つに分かれて指定管理者選定を行っております。

次期指定管理者の募集に際しましては、これら全ての施設を対象としまして、一斉に4月1日からスタートすることとしておりまして、その指定管理者の公募を今月の15日からスタートしたところでございます。今まさに公募期間なわけでございますけれども、これから約50日間の公募期間となりまして、そこでの応募者から指定管理者の候補者を選定する流れとなる予定でございます。その選定につきましては、シリウス等の管理運営等についての調査審議を目的に設置されております文化創造拠点等運営審議会がでございます。こちらで選定を行っていただくこととなります。

この指定管理者の公募につきまして、公募の概要をもう少し詳しくご説明させていただきたいと思います。

資料に沿って説明させていただきたいと思います。1つ目の公募の概

要、その下に対象施設とございますが、今回の指定管理者公募の対象施設は、資料の1) になります。文化創造拠点シリウスの中に設置されております。やまと芸術文化ホール、大和市の図書館の本館でございます。大和市立図書館、同じく大和市の学習センターの本館であります。大和市生涯学習センター、そして大和市内こども広場の4施設でございます。

2) でございますけれども、図書館の地区館といたしまして、中央林間駅前商業施設内にございます中央林間図書館、そして、もともとは生涯学習施設で図書室として機能していたものでございますけれども、これを図書館として再設置いたしました渋谷図書館、この2施設でございます。

そして、3) でございますけれども、学習センター地区館といたしまして、つきみ野学習センター、また、規模や機能が他館とは若干相違がございますけれども、北部文化・スポーツ・子育てセンターのポラリスでございます。そして、桜丘、渋谷の両学習センター、合わせて4施設。これら合計10の施設が今回の対象となっております。

資料のその下、指定期間でございますが、条例で定められた5年以内という規定を基に、シリウスは開館が年度途中でございましたので、平成28年11月からの4年5か月という期間を定めておりました。今回は5年という期間を設定しております。

資料の一番下、指定管理料でございますけれども、年額で10億6,000万としております。現在の10施設の合計の指定管理料は、約11億3,000万になっておりました。昨年度その内容を見直しまして、精査することで、指定管理料といたしましては約7,000万円の減額を図った額となっております。

資料の裏面、2は、今後の選定スケジュールでございます。現在の公募期間終了後、文化創造拠点等運営審議会による応募者の面接審査を行います。これが9月から10月でございます。その結果は11月の教育委員会定例会でご報告させていただきますが、その選定された候補者への指定議案を市議会に12月議会に上程という流れになる予定でございます。ここで市議会の議決を得られましたら、指定管理者への準備、もし指定管理者が代われば、引継ぎ等を経まして、来年4月から次期指定管理者の管理運営がスタートということになります。

今、まだ応募者が何団体になるか全く予測がつかない状況でございますけれども、最終的な応募者数や審査の状況によりまして、このスケジュール、予定につきましては若干変更となる可能性がございますが、ご

了解いただきたいと思います。

最後に、資料の3番、指定管理者の選定を行う組織である、文化創造拠点等運営審議会の概要をまとめてございます。このような組織で選定を行っていただきます。委員の任期は2年間となっております。実はちょうど今年が改選の年に当たっております、資料には現行委員の皆様のお名前が書かれておりますが、実際の選定は次期の皆様をお願いしていくことになる予定です。

文化創造拠点等の指定管理者の公募についてのご報告は以上でございます。ありがとうございました。

○柿本 教育長 ただいまの説明に関しまして、何か質問等ございましたらお願いいたします。

青蔭委員、どうぞ。

○青蔭 委員 異議なしでございます。

○柿本 教育長 よろしいですか。

はい、それでは、報告は終了したいと思います。

その他、事務局より何かございますか。よろしいですか。

委員の皆様から何かございますか。よろしいでしょうか。

特にないようでしたら、8月の会議の日程をお知らせいたします。

8月定例会は、8月19日水曜日午前10時からを予定しております。

ここで、関係職員以外の退室をお願いいたします。

関係職員として、教育部長、教育総務課長及び指導室長を指定します。

それでは、暫時休憩いたします。

(休憩)

(再開)

○柿本 教育長 それでは、再開いたします。

日程第3、議案第36号「令和3年度使用中学校教科用図書の採択について」を議題といたします。

まずは、大和市教科用図書採択検討委員会からの報告を求めます。

高井指導室長。

○高井 指導室長 よろしくお願いたします。

大和市教科用図書採択検討委員会では、大和市教科用図書採択方針に

基づき、令和3年度使用中学校教科用図書につきまして、文部科学省からの「教科書編修趣意書」、神奈川県教育委員会からの「調査研究の結果」、調査研究委員による「調査研究報告書」、市内中学校からの「学校アンケート」、教科書展示会でいただいた感想・意見などを参考資料として検討をしてまいりました。

採択検討委員会は、5月26日、7月8日、7月13日に開催し、7月8日、13日につきましては、調査研究委員から調査結果の報告を受け、慎重かつ公平に検討を行いました。採択検討委員会の検討結果につきましては、大和市教科用図書採択検討委員会報告書にまとめてございます。

なお、報告書には全発行者についての調査研究報告の概要及び採択検討委員会における主な意見、協議内容などを記載しております。

併せて、特別支援学級用教科用図書の採択につきましてもご説明させていただきます。

特別支援学級に在籍している生徒が使用する教科用図書につきましても、一般図書も含めて、次年度に使用する可能性がある図書について採択する必要がございます。

令和3年度特別支援学級に在籍予定の生徒の中に、拡大版の教科用図書を使用することが望ましいと検討している生徒がおります。特別支援学級在籍生徒が拡大教科書を使用する場合、学校教育法附則第9条により採択が必要になります。そこで、令和3年度使用大和市中学校特別支援学級用教科用図書として、令和3年度使用中学校教科用図書と同じ内容の拡大教科書の採択をお願いするものでございます。

以上でございます。

○柿本 教育長 ただいま大和市教科用図書採択検討委員会からの報告をいただきました。

これに関しまして、何か質疑等ございますか。よろしいでしょうか。

ないようでしたら、質疑を終結し、審議に入りたいと思います。

審議に入るに当たりまして、採決方法についてお諮りいたします。

教科書採択については、市民の皆様方の関心も特に高く、より透明性の高い採択とするため、採決方法は委員の挙手により採決することといたしたいと思いますが、ご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

異議なしということで、挙手により過半数を超えた教科用図書を採択することといたします。

それでは、改めて審議に入ります。

審議は、1種目ごとに行います。国語科国語から審議を行います。
細部説明を求めます。

高井指導室長。

○高井 採択検討委員会では、報告書の中央に記載のある調査研究委員の報告
指導室長 概要等を受けまして、各種目の教科書の検討に当たりました。

国語科国語につきましては、第1順位、光村図書出版、第2順位、三省堂、第3順位、東京書籍、以下、教育出版という推薦をいただきました。

光村図書出版につきましては、「学習の進め方が表で示されており、方向性が分かりやすい。」「目次にマークを用いており、全体の作品の捉え方が分かる。」「豊かな感性を育むことができる作品が多い。資料が見やすく提示されている。」

三省堂につきましては、「図やチャートが見やすく表示されている。」「古典作品などの時代背景やイラストでの表現など、生徒が興味を持ちやすい。」「作品の読み方の学習を重視している。」

東京書籍につきましては、「学習で気をつけるポイントが見やすくなっている。」「語彙を豊かにするための題材が充実している。」

教育出版につきましては、「様々な話題、題材を取り上げている。」

以上が、採択検討委員会の所見でございます。

○柿本 はい、細部説明が終わりました。

教育長

質疑、ご意見等ございましたらお願いいたします。

では、委員の皆様から、意見をいただいてまいりたいと思います。

前田委員、お願いいたします。

○前田 各候補者ともに、語彙を豊かにするための題材として、工夫や配慮が
委員 とともされていると思いました。

その中で、光村図書ですが、光村図書は学習の進め方が表を用いて表すなど、とても分かりやすくなっていました。それから、作品の全体的な捉え方もできるようになっていて、いいかなと思いました。

それから、三省堂ですが、三省堂は、内容の配列がすっきりしていて見やすく、そして、読書の広場も充実していると思いました。

以上です。

○柿本 ありがとうございます。

教育長

では、続きまして、森園委員、お願いいたします。

○森園

委員

まず、光村図書でございます。学習の進め方が学年ごと提示され、学びの目的が分かりやすく、振り返りの中でも導入が工夫されていると思いました。

三省堂でございます。漢字、語句、表現力のチャートが工夫されております。また、古典作品など、生徒の興味を持ちながら、読みの方法に学習が導かれております。

以上でございます。

○柿本
教育長

ありがとうございました。

小松委員、お願いいたします。

○小松
委員

各社とも非常に学習しやすいように作っていただいていると思いました。

その中で、三省堂ですが、文書表現や記号、図などが的確でとても見やすいと思いました。あと、巻末の参考資料ですね、特に漢字辞典などが非常に見やすくて、さすが三省堂さんだなと感じたところがございます。

光村図書に関しましては、まず、表紙を開けると巻頭に詩がございました。その後、目次、学習の見通しの基などがあり、本編になりますが、本編の大きな題目のところに、「言葉に出会うために言葉に立ち止まる」、あと古典の教材などは、「いにしえの心を訪ねる」と、非常に、作品もそうですが、本当に豊かな感性を育むことができると感じました。

以上でございます。

○柿本
教育長

ありがとうございました。

青蔭委員、お願いいたします。

○青蔭
委員

まず、光村図書を選びました。皆さんが語るお話をなさっていたので、私からは、申すまでもなく、非常に印象深い教科書になっております。その中で、子どもたちが自らを越えていくような、主体的・対話的な展開に感銘いたしました。

三省堂でございますが、これは何か皆さんもおっしゃっていたように、古典作品を非常に用いて、生徒の興味を持つようになさっていらっしやいますことに感銘いたしました。

○柿本
教育長

ありがとうございました。

ほかにご意見ございませんか。よろしいでしょうか。

ほかはないようでしたら、質疑を終結いたします。

それでは、国語科国語について採決いたします。

本件について、発行者名を読み上げますので、賛成の委員の挙手を求めます。

東京書籍。

(賛成者挙手なし)

三省堂。

(賛成者挙手 1 名)

教育出版。

(賛成者挙手なし)

光村図書出版。

(賛成者挙手 3 名)

ありがとうございました。

光村図書出版が賛成 3 人ですので、国語科国語の教科用図書につきましては、光村図書出版に決しました。

続いて、国語科書写について審議を行います。

細部説明を求めます。

高井指導室長。

○高井指導室長 国語科書写につきましては、第 1 順位、光村図書出版、第 2 順位、東京書籍、第 3 順位、教育出版、以下、三省堂という推薦をいただきました。

光村図書出版につきましては、「毛筆と硬筆の学習のバランスが良い。」「手本が大きく、文字の書体が初心者でも見やすい。」「ユニバーサルデザインを使用しており、様々な生徒に配慮されている。」「国語で扱う教材ともリンクしている。」

東京書籍につきましては、「生活に反映できる情報が整理されており、生徒の関心を引きやすい。」「生徒自身が見直すときのポイントが明示されている。」「文字の成り立ちやその歴史が示されている。」

教育出版につきましては、「硬筆の学習内容が充実している。」「学習したことを実生活で使える場面を想定している。」

三省堂につきましては、「毛筆と硬筆の学習のバランスについて工夫されている。」

以上が、採択検討委員会の所見でございます。

○柿本教育長 細部説明が終わりました。質疑、ご意見等はございますか。

では、前田委員からお願いいたします。

○前田委員 まず、光村図書ですが、光村図書は、学習の流れがとても分かりやすく、見本も大きく見やすいので、教師も生徒も使いやすいのではないかと思います。

それから、東京書籍は、学習するポイントを分かりやすく説明してあるところがいいと思いました。

以上です。

○柿本教育長 ありがとうございました。

続きまして、森園委員、お願いいたします。

○森 園 各社全体に、文字に対する導きが非常に丁寧に扱われていると思いま
委 員 す。

まず、東京書籍。文字の成り立ちなど、歴史を取り入れた書体に興味を
持たせます。各学年それぞれのポイントを持って学ばせており、課題が明
確に示されております。

次に、光村図書。毛筆と硬筆、基礎的文字の運びがきちんとポイントさ
れ、整理されて、初心者でも取り組みやすいような内容になっておりま
す。見本が大きくてよろしいかと思えます。

以上でございます。

○柿 本 ありがとうございます。

教育長 小松委員、お願いいたします。

○小 松 まず、光村図書ですが、毛筆と硬筆との関連性を持たせるための工夫や
委 員 配慮がされていて、生徒が非常に使いやすいのではないかと思いました。

続いて、東京書籍は、濃淡の墨で筆の動きが表現されているので、文字
を正しく書くためのポイントが示されている。左ページに見本、右ページ
に目標、書写の鍵、確かめようなどがまとめて示されているので、生徒が
非常に使いやすいように配慮されていると思いました。

以上です。

○柿 本 ありがとうございます。

教育長 青蔭委員、お願いいたします。

○青 蔭 まず、東京書籍でございますが、各委員がおっしゃったとおりに、文字
委 員 の成り立ち、象形から始まりまして、その歴史が細かく明記されていて、
字を習う上で、ああ、こういうことだったのかなということが子どもたち
に反映できればうれしいなと思いました。

それから、光村図書でございますが、私が申すまでもなく、非常に、毛
筆の特徴、それから硬筆の特徴をいかに紙面に表現されていまして、
大変感銘をいたしました。

以上であります。

○柿 本 ありがとうございます。

教育長 ほかにないようでしたら、質疑を終結いたします。

それでは、国語科書写について採決いたします。

本件について、発行者名を読み上げますので、賛成の委員の挙手を求
めます。

東京書籍。

(賛成者挙手なし)

三省堂。

(賛成者挙手なし)

教育出版。

(賛成者挙手なし)

光村図書出版。

(賛成者挙手4名)

ありがとうございました。

光村図書出版が賛成全員でございますので、国語科書写の教科用図書につきましては、光村図書出版に決しました。

続いて、社会科社会地理的分野について審議を行います。

細部説明を求めます。

高井指導室長。

○高井指導室長 社会科社会（地理的分野）につきましては、第1順位、東京書籍、第2順位、帝国書院、第3順位、日本文教出版、以下、教育出版という推薦をいただきました。

東京書籍につきましては、「考えるためのポイントが分かりやすく示されている。」「基礎的事項が確認しやすく構成されている。」「グラフや図がシンプルで見やすく、生徒が考えやすい。」「歴史的分野、公民的分野とそろえたほうが生徒にとって学びやすい。」

帝国書院につきましては、「まとめのページが丁寧である。」「見開き1ページで授業が構造化されており、使いやすい。」「グラフや図が生徒にとって考えやすい。」

日本文教出版につきましては、「グラフの読み取り方や情報の活用について明示されている。」「防災学習について充実している。」

教育出版につきましては、「考えるポイントが示されている。」

以上が、採択検討委員会の所見でございます。

○柿本教育長 細部説明が終わりました。

それでは、委員の皆様、ご意見等をいただきたいと思います。

前田委員、よろしいでしょうか。

○前田委員 まず、東京書籍ですが、東京書籍は、学習課題から始まる学習が、内容の確認、発展的な学習へという一連の流れになっていまして、学びやすいと思いました。

それから、帝国書院ですが、帝国書院は、同じように、確認する、説明する、調べるという学習の流れが分かりやすくて学びやすく、とてもいいのではないかなと思いました。

以上です。

○柿本 ありがとうございました。

- 教育長 では、森園委員、お願いいたします。
- 森 園 全体的に、グラフとか地図とか、非常に丁寧に扱われていると思いま
委 員 す。
- まず、東京書籍でございます。地理の資料、統計、その他、非常にグ
 ラフになっているものが見やすく、学びのポイントが明確で分かりやす
 くなっております。コーナーごとの振り返り、これが学びの確認となっ
 て、これもまたよろしいかと思えます。
- 次に、日本文教出版、グラフ、地理がとても丁寧にきちんと明示され
 ております。また、チャレンジの部分におきましては、工夫があり、生
 徒たちの深い学びにもつながると思えます。
- 以上でございます。
- 柿 本 ありがとうございました。
教 育 長 それでは、小松委員、よろしいですか。
- 小 松 日本文教出版ですが、この所見のところにもありましたが、防災学習
委 員 についてが非常に充実していると見ていて感じました。
- 東京書籍ですが、先ほど前田委員もおっしゃっていましたが、
 学習の初めに学習課題、終わりのところにチェックとトライがありまし
 て、学習内容の確認や、その後、発展的な課題が提示されているという
 ところは、生徒が非常に使いやすいように配慮されているなど感しまし
 た。
- 以上です。
- 柿 本 ありがとうございました。
教 育 長 青蔭委員、お願いいたします。
- 青 蔭 帝国書院でございますが、非常に見開きで見やすい、それから、授業
委 員 がそれによって構造化されることによって、グラフを見るときにそれが
 参考になって、非常に子どもたちにとって次の展開が明確になるかなと
 思いました。
- 東京書籍でございますが、先ほど皆さんおっしゃったように、「みん
 なでチャレンジ」がある。これで内容をしっかりと理解させる、それか
 らもう一度スキルアップがあつて、さらに情報に関する技能を養える
 かなと感じました。
- 以上であります。
- 柿 本 ありがとうございました。
教 育 長 ほかにご意見はよろしいでしょうか。
- ほかにはないようでしたら、質疑を終結いたします。
- それでは、社会科社会（地理的分野）について採決いたします。

本件について、発行者名を読み上げますので、賛成の委員の挙手を求めます。

東京書籍。

(賛成者挙手4名)

ありがとうございました。

東京書籍が賛成全員ですので、社会科社会（地理的分野）の教科用図書につきましても、東京書籍に決しました。

続いて、社会科社会（歴史的分野）について審議を行います。

細部説明を求めます。

高井指導室長。

○高井指導室長 社会科社会（歴史的分野）につきましても、第1順位、東京書籍、第2順位は帝国書院と日本文教出版が同位、以下、山川出版社、教育出版、学び舎、育鵬社という推薦をいただきました。

東京書籍につきましても、「基礎基本が押さえやすく、分かりやすい。」「各ページのチェック、トライが設定され、構造的な学習を行いやすい。」「1時間ごとの学習に課題を持ち、深められる。」「学校からのアンケート結果でも高く評価されている。」

帝国書院につきましても、「導入で話し合いができ、主体的に学べる。」「年表に年号が併記され、時代を分かりやすく理解できる。」

日本文教出版につきましても、「歴史の学習方法が最初のページに分かりやすく表示されている。」「時系列がはっきりと表示され、世界の歴史と比較して学ぶことができる。」

山川出版社につきましても、「イラストが豊富で資料性が高い。」「資料が多く、認識しやすい。」

教育出版につきましても、「歴史の大きな流れを捉えやすい。」

学び舎につきましても、「大きくて目に優しいデザインである。」

育鵬社につきましても、「本時の学習課題とまとめが提示されている。」

以上が、採択検討委員会の所見でございます。

○柿本教育長 細部説明が終わりました。

ご意見等をお伺いしたいと思います。

前田委員、よろしいでしょうか。

○前田委員 まず、東京書籍ですが、東京書籍は、地理的分野と同じように、学習課題が具体的に分かりやすく、各ページにある年表とか、チェック、トライで学習が進めやすいと思いました。

それから、日本文教出版ですが、日本文教出版は、各ページにある年表

によって学習している時代の位置を捉えやすくしてよいのではないかと思います。

以上です。

○柿本 教育長 ありがとうございました。
 森園委員、お願いいたします。

○森園 委員 各社、生徒が本当に興味が持てるような資料が豊富に取りそろえられていたと思います。

まず、東京書籍でございます。歴史の歩みが整理されていて理解しやすく、チェック、トライの設定が学習をまとめて学びやすくなっております。資料の扱いが多面的、多角的な学習をしやすくしていると思われました。

次に、帝国書院でございます。生徒が関心を持てるようなタイムトラベルの設定が工夫されております。時代の流れを分かりやすく表記して、学習をしやすくしております。

以上でございます。

○柿本 教育長 ありがとうございました。
 小松委員、お願いいたします。

○小松 委員 まず、東京書籍ですが、各章の冒頭に小学校での学習を振り返る資料や年表が掲載され、また、地理でもそうでしたが、学習の終わりにチェックとトライがあり、生徒にとって分かりやすく、理解が深まるような構成になっているなどというふうに感じました。

続いて、帝国書院ですが、時代を分かりやすく理解できるように、年表が非常に工夫されているなど感じました。

以上です。

○柿本 教育長 では、青蔭委員、お願いいたします

○青蔭 委員 私は東京書籍でございます。単位時間の流れというものを、導入、それから課題、本文、チェック&トライ、流れは非常に明確になっているかなと思います。しかも主体的にまとめられていると思われました。

教育出版でございますが、こちら1時間の最後に、確認と表現ということについて、問いのまとめに非常に興味を覚えました。

以上であります。

○柿本 教育長 ありがとうございました。
 よろしいでしょうか。

ほかにないようでしたら、質疑を終結いたします。

それでは、社会科社会（歴史的分野）について採決いたします。

本件について、発行者名を読み上げますので、賛成の委員の挙手を求めます。

東京書籍。

(賛成者挙手3名)

教育出版。

(賛成者挙手なし)

帝国書院。

(賛成者挙手1名)

ありがとうございました。

東京書籍が賛成3人ですので、社会科社会(歴史的分野)の教科用図書につきましては、東京書籍に決しました。

続いて、社会科社会(公民的分野)について審議を行います。

細部説明を求めます。

高井指導室長。

○高井 社会科社会(公民的分野)につきましては、第1順位、東京書籍、第2
指導室長 順位、教育出版、第3順位、日本文教出版、以下、帝国書院、そして自由社、育鵬社については同位という推薦をいただきました。

東京書籍につきましては、「課題が具体的に示されている。」「社会科の他分野とそろえたほうがよい。」「他分野と関連し、生徒が学習しやすい。」「系統的、発展的に学習が構成されている。」

教育出版につきましては、「日本国憲法についてほぼ全文が網羅されている。」「SDGsについての記載が良い。」「社会科の見方・考え方を捉えやすい。」

日本文教出版につきましては、「対話を促すような工夫がされている。」「導入で考えを深められるようになっている。」

帝国書院につきましては、「各章に振り返りが設けられている。」

自由社につきましては、「各単元が系統的、発展的に配列されている。」

育鵬社につきましては、「学習資料の文字が大きく見やすい。」

以上が、採択検討委員会の所見でございます。

○柿本 細部説明が終わりました。

教育長 皆様のご意見等をお伺いしたいと思います。

前田委員、お願いいたします。

○前田 まず、東京書籍です。東京書籍は、導入時の活動に興味を持ってそうな内
委員 容が取り上げてあり、興味・関心を持ちながら学習に取り組めるところがよいのではないかと思います。

次に、日本文教出版です。日本文教出版も同じように、導入時の活動がよく考えを深められるようになっていて、工夫されているなど思いました。

以上です。

○柿本 教育長 ありがとうございます。
森園委員、お願いいたします。

○森園 委員 まず、東京書籍でございます。学習の内容は系統的になっており、現実の社会における仕組みの学習とか、本当にそろえられてよろしいと思いました。

次に、教育出版でございます。資料が豊富に掲げられ、視覚にも訴えて、学習の幅を非常に上げております。社会科の見方・考え方に工夫があります。

以上でございます。

○柿本 教育長 ありがとうございます。
小松委員、お願いいたします。

○小松 委員 まず、日本文教出版ですが、社会科の見方や考え方を働かせる学習ツールとしてアクティビティやチャレンジなどが設定されているところが良いと感じました。

東京書籍ですが、導入の活動においては探究課題があり、探究課題の解決に向けて探究ステップがあり、課題が具体的に示されているので、生徒にとっては非常に分かりやすいのではないかと、学習も進むのではないかと感じました。

以上です。

○柿本 教育長 ありがとうございます。
青蔭委員、お願いいたします。

○青蔭 委員 教育出版でございまして、先ほど何回か皆さんおっしゃっていますが、社会科の見方と考え方が捉えやすくできていると思います。

次に、東京書籍でございますが、これも皆様おっしゃっているとおり、計画的に発展的に学習が進められるようにできていると思います。

以上であります。

○柿本 教育長 ありがとうございます。
ほかにご意見よろしいでしょうか。

ほかにはないようでしたら、質疑を終結いたします。

それでは、社会科社会（公民的分野）について採決いたします。

本件について、発行者名を読み上げますので、賛成の委員の挙手を求めます。

東京書籍。

(賛成者挙手3名)

教育出版。

(賛成者挙手1名)

ありがとうございました。

東京書籍が賛成3人ですので、社会科社会公民的分野の教科用図書につきましては、東京書籍に決しました。

続いて、社会科地図について審議を行います。

細部説明を求めます。

高井指導室長。

○高井指導室長 社会科地図につきましては、第1順位、帝国書院、第2順位、東京書籍という推薦をいただきました。

帝国書院につきましては、「生徒の興味を引くコーナーがあり、工夫されている。」「大きくて見やすい。」「色合いが良く、整理されている。」

東京書籍につきましては、「『大和市』という記載があり、生徒にとって親しみやすい。」

以上が、採択検討委員会の所見でございます。

○柿本教育長 細部説明が終わりました。

皆様のご意見をお伺いしたいと思います。

前田委員、よろしく願いいたします。

○前田委員 両発行者共に、現代的な諸課題を取り上げ、主体的に学習に取り組める工夫されていると思われました。

その中で帝国書院は、地図が大きく、はっきりしていて、見やすいというところがよかったと思います。

○柿本教育長 ありがとうございました。

では、続きまして、森園委員、お願いします。

○森園委員 両社とも非常に分かりやすく説明されていたと思います。表示も非常に大きく取り上げられていて、これがよかったと思います。

まず、帝国書院でございますが、今申し上げたように、地図が大きくて本当に見やすく、様々な場所の文化・生活を取り入れ、より場所の興味と理解が深まるよう工夫されております。

東京書籍に関しましては、非常に親しみやすくなっておりまして、ポイントとしてはやはり見やすいということでございます。

以上でございます。

○柿本 ありがとうございました。

教育長 　　では、小松委員、お願いいたします。

○小 松 　　両社とも非常に見やすく作っていただいているとは思いましたが、その
委 員 　　中で、帝国書院に関しましては、色合いがよく、整理されている、いろん
　　なところでさらに見やすくなっているのかな、大きさもそうですが、非常
　　に見やすいのを感じました。

　　以上です。

○柿 本 　　ありがとうございました。

教育長 　　青蔭委員、お願いいたします。

○青 蔭 　　帝国書院でございますが、皆さんもおっしゃっているとおり非常に
委 員 　　見やすい、それから、地図の活用方法は、131問設置して、地図の見方の
　　制度に細かく説明してくれて、親切だと思いました。

　　東京書籍でございますが、「大和市」という特化したこともございまして、生徒にとって、少し「大和市」というところが認知いただけるためにもよろしいかなと思いました。

　　以上であります。

○柿 本 　　ありがとうございました。

教育長 　　ほかにご意見よろしいでしょうか。

　　ほかにはないようでしたら、質疑を終結いたします。

　　それでは、社会科地図について採決いたします。

　　本件について、発行者名を読み上げますので、賛成の委員の挙手を求めます。

　　東京書籍。

　　（賛成者挙手なし）

　　帝国書院。

　　（賛成者挙手4名）

　　ありがとうございました。

　　帝国書院が賛成全員ですので、社会科地図の教科用図書については、帝国書院に決しました。

　　続いて、数学について審議を行います。

　　細部説明を求めます。

　　高井指導室長。

○高 井 　　数学につきましては、第1順位、日本文教出版、第2順位、東京書籍、
指導室長 　　第3順位、学校図書、以下、数研出版、大日本図書、そして、教育出版、
　　新興出版社啓林館が同位という推薦をいただきました。

　　日本文教出版につきましては、「既習事項を確認しやすく、学習の積み上げが分かりやすい。」「復習が設定され、基礎基本から学習しやす

い。」「学習前に興味を持てるようになっている。」「色分けがされており、見やすい。」「繰り返し学習する内容が充実している。」

東京書籍につきましては、「小学校との連続性があり、学習を積み上げやすい。」「使いやすい構成になっている。」「生徒にとって取り組みやすい問題量である。」「図や表が生徒にとって分かりやすい。」

学校図書につきましては、「基礎が押さえられ、論理的思考を育みやすい問題構成となっている。」「数学が苦手な生徒に対しても導入が工夫されている。」「繰り返し学習する内容が充実している。」

数研出版につきましては、「幾何学的に図形を見取る力を育てやすい。」

大日本図書につきましては、「目当て、問い、活動がスムーズに単元が組まれている。」

教育出版につきましては、「自分の考えを説明する場面を設けている。」

新興出版社啓林館につきましては、「他教科との関連について掲載されている。」

以上が、採択検討委員会の所見でございます。

○柿本
教育長

細部説明が終わりました。

それでは、ご意見をよろしくお願いいたします。

前田委員、お願いいたします。

○前田
委員

まず、東京書籍です。東京書籍は、小学校からのつながりによって使いやすい構成になっているところから、学習しやすくいいんじゃないかと思いました。

それから、日本文教出版ですが、繰り返しの学びができるような工夫がしてあって、学習の積み上げができるようになっていて、そこがとてもいいところだと思いました。

○柿本
教育長

ありがとうございました。

森園委員、よろしいですか。

○森園
委員

まず、日本文教出版でございます。余分なイラストがなくて、本当に全体がシンプルで、学習の進め方は分かりやすくなっております。繰り返しの学習はきちんとされており、数学というものを親しみやすい教科にするよう工夫されていると思います。

東京書籍でございます。基礎が繰り返し取り入れられており、また、練習問題も生徒が取り組みやすく工夫されていると思います。全般的に使いやすい構成となっております。

以上でございます。

- 柿 本 ありがとうございます。
教育長 小松委員、お願いいたします。
- 小 松 大日本図書ですが、中学校1年生のところの主になんですけれども、小
委 員 学校の算数から中学校の数学に移行していくときの導入の部分が非常に分
かりやすいなと思いました。また、課題に取り組む際の説明がチャートな
どを利用して分かりやすく表現されていると感じました。
日本文教出版ですが、Q (Q u e s t i o n) から目当てで考え方の後
に設問が来ています。ほかでは、大切な見方、考え方など整理されて記載
されているので非常に見やすく、学習に取り組みやすい構成になっている
なと感じました。
以上です。
- 柿 本 ありがとうございます。
教育長 青蔭委員、お願いいたします。
- 青 蔭 まず、東京書籍でございますが、先ほどありましたが、小学校との連続
委 員 性があつて、非常に授業を進める上で分かりやすいと存じました。あと、
「深い学び」と「主体的な学び」を非常に分かりやすく説明していると思
いました。
日本文教でございますが、この教育基本法に示されている「生命を尊
び、自然を大切に」、ここに「数学のたんけん」ということで、防災や福
祉を入れて、非常に多目的に、数学というものを子どもたちに教えようと
していると感じました。
- 柿 本 ありがとうございます。
教育長 ほかにご意見よろしいでしょうか。
ほかにないようでしたら、質疑を終結いたします。
それでは、数学について採決いたします。
本件について、発行者名を読み上げますので、賛成の委員の挙手を求
めます。
東京書籍。
(賛成者挙手1名)
大日本図書。
(賛成者挙手なし)
学校図書。
(賛成者挙手なし)
教育出版。
(賛成者挙手なし)
新興出版社啓林館。

(賛成者挙手なし)

数研出版。

(賛成者挙手なし)

日本文教出版。

(賛成者挙手3名)

でございます。

ありがとうございました。

日本文教出版が賛成3人ですので、数学の教科用図書につきましては、日本文教出版に決しました。

続きまして、理科について審議を行います。

細部説明を求めます。

高井指導室長。

○高井指導室長 理科につきましては、第1順位、東京書籍、第2順位、新興出版社啓林館、第3順位、教育出版、以下、学校図書、大日本図書という推薦をいただきました。

東京書籍につきましては、「実験の流れ、手順が分かりやすい。」「まとめが充実し、見やすくなっている。」「フローチャート図で章の流れ、つながりが分かりやすい。」「見開きでまとまっており、1時間の流れが分かりやすい。」「探究活動について掲載されている。」

新興出版社啓林館につきましては、「探究活動が充実している。」「資料が豊富で情報を手に入れやすい。」「生徒が興味を持ちやすいような紙面構成となっている。」「発展的な学習の取扱いが適切である。」

教育出版につきましては、「有効数字や誤差について、理科で大事な点が丁寧に説明されている。」「安全に気をつける点が表記されている。」「まとめが設定されている。」

学校図書につきましては、「『Can-Do List』でやらなければいけないことを確認できる。」

大日本図書につきましては、「各学年間の単元構成が工夫されている。」

以上が、採択検討委員会の所見でございます。

○柿本教育長 細部説明が終わりました。

ご意見を伺ってまいりたいと思います。

前田委員、お願いいたします。

○前田委員 まず、啓林館ですけれども、啓林館は、探究の学習過程が明確になっていて、学びを深めやすい流れになっていると思いました。

それから、教育出版ですが、目的から考察までの実験観察の流れが矢印

で示されていて、分かりやすいのでいいのではないかと思います。

以上です。

○柿本 教育長 ありがとうございます。
森園委員、お願いいたします。

○森園 委員 各社とも、非常に実験の方法、それから図解、写真、イラストが豊富でよかったですと思います。

まずは、教育出版でございます。安全に対する対応がきちんと表記されております。課題の理科に関心を深めるような配慮が、工夫がされております。説明が全般的に非常に丁寧になっております。

次に、新興出版社啓林館でございます。資料が豊かで探究活動の充実につながります。生徒が本当に理科に興味を持つような工夫が随所に見られます。

以上でございます。

○柿本 教育長 ありがとうございます。
小松委員、お願いいたします。

○小松 委員 まず、新興出版社啓林館ですが、生徒が興味・関心を持ちやすい紙面構成になっていると感じました。学ぶ前にトライ、学んだ後にリトライという形で学んだことを活用して、基本をみんなで解決したり、学習内容をさらに発展させていくような、深い学びへ導く工夫がされていると感じました。

東京書籍につきましては、見開きでまとまっていて、所見のところにも1時間の流れが分かりやすいというところ、あと、やはりまとめが非常に充実しているなど感じました。

以上です。

○柿本 教育長 ありがとうございます。
青蔭委員、お願いいたします。

○青蔭 委員 まず、新興出版社啓林館でございますが、身近な問いから課題を設定して、それから、子どもたちに見通しを持って学習ができるという項目に着目いたしました。

東京書籍でございますが、これも各委員がおっしゃっているとおりでございます。科学の見方、理科に対する子どもたちの考えの発展性を感じました。

以上であります。

○柿本 教育長 ありがとうございます。
ほかにご意見よろしいでしょうか。

ほかにならなければ、質疑を終結いたします。

それでは、理科について採決いたします。

本件について、発行者名を読み上げますので、賛成の委員の挙手を求めます。

東京書籍。

(賛成者挙手なし)

大日本図書。

(賛成者挙手なし)

学校図書。

(賛成者挙手なし)

教育出版。

(賛成者挙手1名)

新興出版社啓林館。

(賛成者挙手3名)

ありがとうございました。

新興出版社啓林館が賛成3人ですので、理科の教科用図書については、新興出版社啓林館に決しました。

続いて、音楽科音楽について審議を行います。

細部説明を求めます。

高井指導室長。

○高井指導室長 音楽科音楽につきましては、第1順位、教育芸術社、第2順位、教育出版という推薦をいただきました。

教育芸術社につきましては、「生徒が興味を持ちやすく、系統的、発展的に創作活動が行える。」「資料が多く、生徒の興味を引きやすい。」「著作権やSDGs、伝統音楽など内容が幅広く、学習が広がっていく。」

教育出版につきましては、「楽典が詳しく掲載されている。」「日本の楽曲が充実している。」

以上が、採択検討委員会の所見でございます。

○柿本教育長 細部説明が終わりました。

質疑、ご意見等ございましたら、お願いいたします。

では、前田委員からお願いいたします。

○前田委員 教育芸術社ですが、教育芸術社は、内容が幅広くて、興味を持って取り組めるようになっていくところがいいなと思いました。

以上です。

○柿本教育長 では、森園委員、お願いいたします。

○森 園 両社とも本当に音楽はすばらしいものだというようなものが訴えられて
委 員 いると思います。

教育芸術社に關しましては、音楽に關する取組の持ちよう、全般的に配
慮・構成が非常にすばらしく進められております。音楽のすばらしさ、音
楽がどのようなものかが詳しく伝えられていると思います。

教育出版に關しましては、日本の雅楽、非常に親しみやすく取り入れら
れていると思います。また、学習の展開、音楽の学習の展開が工夫されて
いると思います。

以上でございます。

○柿 本 小松委員、お願いいたします。
教育長

○小 松 教育芸術社、教育出版ともに、音楽に興味を持てるようなつくりになっ
委 員 ているなど感じました。

教育芸術社の音楽の約束、音楽にはもう決まり事があるわけですがけれど
も、その掲載の仕方が非常に見やすく、分かりやすくいいなと感じま
した。

以上です。

○柿 本 ありがとうございます。
教育長 青蔭委員、お願いいたします。

○青 蔭 まず、教育芸術社でございますが、非常に伝統と文化に關する教育に力
委 員 を入れています。日本の伝統音楽について詳しく出て、興味を覚えまし
た。それから、このことによって、生徒が自分たちの住むところに非常に
関心を持っていただければと。それから、著作権等々、いろんな約束事が
ございますが、これを子どものうちからきちっと教えていくということに
大変興味を覚えました。

教育出版におきましても、楽曲が非常に詳しく扱っておりまして、よく
まとまっているかなと思いました。

以上であります。

○柿 本 ありがとうございます。
教育長 ほかにご意見よろしいでしょうか。

ほかにないようでしたら、質疑を終結いたします。

それでは、音楽科音楽について採決いたします。

本件について、発行者名を読み上げますので、賛成の委員の挙手を求
めます。

教育出版。

(賛成者挙手なし)

教育芸術社。

(賛成者挙手4名)

ありがとうございました。

教育芸術社が賛成全員ですので、音楽科音楽の教科用図書につきましては、教育芸術社に決しました。

続いて、音楽科音楽器楽合奏について審議を行います。

細部説明を求めます。

高井指導室長。

○高井 音楽科音楽（器楽合奏）につきましては、第1順位、教育芸術社、第2
指導室長 順位、教育出版という推薦をいただきました。

教育芸術社につきましては、「生徒が興味を持てる楽曲や有名な音楽家の写真や紹介が多く掲載されている。」「目次から目的のページを探しやすい。」「民族音楽など、説明が詳しい。」「音楽（一般）とそろえたほうがよい。」

教育出版につきましては、「楽器の演奏方法が見やすく掲載されている。」「楽譜スコアが詳しい。」「リコーダー奏法で気をつける点など、細かい。」

以上が、採択検討委員会の所見でございます。

○柿本 細部説明が終わりました。

教育長 ご意見をいただいてまいりたいと思います。

前田委員、お願いいたします。

○前田 両社ともに演奏方法等が見やすく掲載されていると思いました。

委員 楽曲については、教育芸術社のほうが興味を持って取り組むのではないかと思いました。

以上です。

○柿本 森園委員、お願いいたします。

教育長

○森園 両社とも、演奏に関心を持てるよう、非常に工夫されていると思いま
委員 す。

教育芸術社でございます。表示されている作品が豊富で音楽の持つ感性が育まれます。また、作品の制作に、生徒自ら創り出す主体性の学びも工夫されていると思います。

教育出版に関しましては、本当に学習にに応じての段階的な工夫がされており、生徒の雅楽に対する興味を促しております。

以上でございます。

○柿本 ありがとうございました。

- 教育長 小松委員、お願いいたします。
- 小松委員 両社ともに楽器の演奏方法が非常に見やすく感じました。
教育芸術社ですが、取り扱っている楽器が非常に多彩で、多岐にわたっていますので、ここも非常に興味持てるどころだなと見させていただきました。
- 柿本教育長 ありがとうございます。
青蔭委員、お願いいたします。
- 青蔭委員 両社とも、児童生徒に対して、音楽に興味を持っていただくように、よく細かく整理されていると存じます。
中でも、教育芸術社が非常に民俗音楽、詳しく説明していることに思いました。それから、何といても、子どもたちが楽器に対する、あるいは音楽に対する、そういうものに興味を持っていただくようにできているかなと思いました。
以上であります。
- 柿本教育長 ありがとうございます。
ご意見、ほかによろしいでしょうか。
ほかにはないようでしたら、質疑を終結いたします。
それでは、音楽科音楽（器楽合奏）について採決いたします。
本件について、発行者名を読み上げますので、賛成の委員の挙手を求めます。
教育出版。
（賛成者挙手なし）
教育芸術社。
（賛成者挙手4名）
ありがとうございました。
教育芸術社が賛成全員ですので、音楽科音楽（器楽合奏）の教科用図書につきましては、教育芸術社に決しました。
続いて、美術について審議を行います。
細部説明を求めます。
高井指導室長。
- 高井指導室長 美術につきましては、第1順位、光村図書出版、第2順位、日本文教出版、第3順位、開隆堂出版という推薦をいただきました。
光村図書出版につきましては、「掲載されている作品が豊富で、感性を育てやすい。」「紙質を変え、印象が強い。」「制作過程が掲載され、生徒が主体的に学びに取り組める。」「多様な価値観を深めやすい。」
日本文教出版につきましては、「作品が原寸大で掲載され、迫力があ

る。」「多くの作品があり、情報量が多い。」「指導要領に沿い、発達段階に合っている。」

開隆堂出版につきましては、「情報量が多く、学習に広がりを持てる。」「バランスが取れている。」

以上が、採択検討委員会の所見でございます。

○柿本
教育長

細部説明が終わりました。

ご意見をお願いいたします。

前田委員。

○前田
委員

光村図書出版がよいのではないかと思います。光村図書出版は、制作の課程が分かりやすくなっていて、作品も多く紹介され、生徒が主体的に学ぶことができるようになっていると思いました。

以上です。

○柿本
教育長

ありがとうございました。

森園委員、お願いします。

○森園
委員

日本文教出版でございます。絵や彫刻、工芸の美しさを丁寧に訴えており、また、いろいろな作品が大きく掲載され、迫力があり、心にそれらの芸術として刻まれます。美術の出会いから、その広がりや未来への探求がこれによって育成されていると思います。

次に、光村図書出版でございます。多くの作品が豊富で自己の完成を促すことができます。また、探究することができます。作品作成過程が丁寧に分かりやすく、主体的な学びができます。

以上でございます。

○柿本
教育長

ありがとうございました。

小松委員、お願いします。

○小松
委員

まず、光村図書出版ですが、制作過程が掲載されているので、生徒が主体的にやはり取り組めるのかなと感じました。あと、掲載されている作品が非常にダイナミックなものもありまして、何か見ている感性をくすぐられるものが中にはございました。

続きまして、日本文教出版ですが、こちらも非常に作品が原寸大で掲載されていて、こちらも迫力を感じました。また、非常に掲載作品が多くて、情報量も非常に多いのではないかなというふうに感じました。

○柿本
教育長

ありがとうございました。

青蔭委員、お願いします。

○青蔭
委員

3社とも、芸術をいかに具現化して子どもたちに興味を持っていただくように、と気遣いいただいて、よくまとまっていると思いました。

中でも光村図書でございますが、1年生の表紙を見たときに、これアン

リ・ルソーのたしか「夢」という絵かと思うのですが、この方は自由に絵を描いてくると、子どもたちにも、とらわれないで自分の思ったように絵を描くということを1年のときにお教えいただいて、2、3年の教科書で長沢芦雪だったと思うんですが、「虎図襖」という大変大胆な筆で虎の絵を描いて、つまり自己表現するには、誰に遠慮することなく、自由に表現していいんだということを表紙から訴えているように思いました。

以上であります。

○柿本
教育長

ありがとうございました。

ほかにご意見よろしいでしょうか。

ほかにないようでしたら、質疑を終結いたします。

それでは、美術について採決いたします。

本件について、発行者名を読み上げますので、賛成の委員の挙手を求めます。

開隆堂出版。

(賛成者挙手なし)

光村図書出版。

(賛成者挙手3名)

日本文教出版。

(賛成者挙手1名)

ありがとうございました。

光村図書出版が賛成3人ですので、美術の教科用図書につきましては、光村図書出版に決しました。

続いて、保健体育について審議を行います。

細部説明を求めます。

高井指導室長。

○高井
指導室長

保健体育につきましては、第1順位、学研教育みらい、第2順位、大修館書店、第3順位、大日本図書、以下、東京書籍という推薦をいただきました。

学研教育みらいにつきましては、「索引にもLGBTがリストアップされ、多様性について学習できる。」「生徒が使いやすいように文章に注釈があり、配慮されている。」「導入部分が使いやすく、興味を引くようになっている。」「スポーツの多様性に触れている。」

大修館書店につきましては、「1ページに学習のまとめ、キーワードがあり、生徒が意識を持って学習できる。」「感染症について掲載がある。」「SDGsについて取り上げ、学習の広がりが持てる。」

大日本図書につきましては、「応急手当て、AEDについて、丁寧に扱

っている。」「見開き1ページの左側に本文、右側に資料があり、見やすい構成となっている。」

東京書籍につきましては、「現代的課題である心の健康、性の多様性について多く取り上げている。」「書き込みができるようになっている。」

以上が、採択検討委員会の所見でございます。

○柿本
教育長

細部説明が終わりました。

ご意見をいただいてまいりたいと思います。

前田委員、お願いします。

○前田
委員

学研教育みらいは、学習の目標からまとめる・深めるという学習の進め方が関心を持って取り組めるというところがよかったと思います。それから、性教育について、分かりやすく、適切な内容になっていると思います。

東京書籍もよかったと思いました。

以上です。

○柿本
教育長

ありがとうございました。

森園委員、お願いします。

○森園
委員

大修館書店に関しましては、各章のまとめがきちんと整理されており、自主性を持って生徒が学習できます。今最大の関心、感染症についても取り上げられ、図解も理解しやすくなっていると思います。

次に、学研教育みらい。全体に生徒が使いやすいよう、色分けで項目を分けるなど、全体的によく工夫されております。また、スポーツなど、多様性をきちんと取り上げて、学習の関心をさらに広げております。

以上でございます。

○柿本
教育長

ありがとうございました。

小松委員、お願いします。

○小松
委員

東京書籍ですが、この所見のところにもございましたが、やはり心の健康や性の多様性について、丁寧に、また、多く取り上げられているところがいいと感じました。

続いて、学研教育みらいですが、学習の目標・課題をつかむなど、目標や学習活動がしっかりと設定されているので、生徒にとっては扱いやすいものになっていると感じました。

○柿本
教育長

ありがとうございました。

青蔭委員、お願いいたします。

○青蔭
委員

まず、大修館書店でございますが、感染症についての記載がありまして、非常に興味を覚えました。

それから、学研教育みらいでございますが、導入部が非常に分かりやす

くできておりました、非常に次への展開、スムーズにいくのかなと感じました。

以上であります。

○柿 本
教育長

ありがとうございました。

ほかにご意見よろしいでしょうか。

ほかはないようでしたら、質疑を終結いたします。

それでは、保健体育について採決いたします。

本件について、発行者名を読み上げますので、賛成の委員の挙手を求めます。

東京書籍。

(賛成者挙手2名)

大日本図書。

(賛成者挙手なし)

大修館書店。

(賛成者挙手1名)

学研教育みらい。

(賛成者挙手1名)

東京書籍が2人、大修館書店が1人、学研教育みらいが1人ということでございます。

2対1対1ということで、私の票を入れさせていただきたいと思えます。私は子どもたちが学ぶには東京書籍がよろしいかと思えますので、東京書籍に1票入れさせていただきます。

よって、保健体育の教科用図書につきましては、東京書籍に決定いたします。

続いて、技術家庭科技術・家庭（技術分野）について審議を行います。

細部説明を求めます。

高井指導室長。

○高 井
指導室長

技術家庭科技術・家庭（技術分野）については、第1順位、東京書籍、第2順位、開隆堂出版、第3順位、教育図書という推薦をいただきました。

東京書籍につきましては、「情報について重点的に扱っている。」「生徒にとって分かりやすい言葉で表記され、全体が見やすくなっている。」

「巻頭のガイダンスが使いやすい。」「他教科との横断的な学習が進められる。」

開隆堂出版につきましては、「ものづくりの際に参考となる資料が充実

している。」「エネルギー変換について扱われている。」

教育図書につきましては、「情報量が多い。」

以上が、採択検討委員会の所見でございます。

○柿本
教育長

細部説明が終わりました。

それでは、ご意見を伺ってまいりたいと思います。

前田委員、お願いいたします。

○前田
委員

東京書籍は、プログラミングで情報分野の内容を重視して取り扱っていると思います。そして、分かりやすい言葉が使われていると思いました。以上です。

○柿本
教育長

ありがとうございました。

森園委員、お願いいたします。

○森園
委員

まず、東京書籍でございます。技術、工芸など、基礎的なところを、ものづくりがコンピューターのプログラム制作まで、非常にしっかりとまとめていると思います。末尾のガイダンス、とてもよかったと思います。全体が見やすく、説明が分かりやすいと思いました。

開隆堂出版。ものづくりの際、資料が充実し、写真による説明、図解が細かく表せているのでとても理解しやすく、随所にミニコメントがとても工夫されていると思いました。

以上でございます。

○柿本
教育長

ありがとうございました。

小松委員、お願いいたします。

○小松
委員

開隆堂出版ですが、やはりものづくりの際に参考となる資料が非常に豊富で、生徒たちもとても取り組みやすいようにできていると感じました。以上です。

○柿本
教育長

ありがとうございました。

青蔭委員、お願いいたします。

○青蔭
委員

開隆堂出版でございますが、持続可能な社会の構築について、各編のまとめに、技術と私たちの未来として、世界や環境と技術との関わり方、これを細かく説明しているように思いました。

東京書籍でございますが、これも、子どもたちにとっていかに情報を重点的に絞れるか、それから、また、自分たちにとってこの技術が何であるかということ細かく説明しているように思いました。

以上であります。

○柿本
教育長

ありがとうございました。

ほかにご意見よろしいでしょうか。

ほかにはないようでしたら、質疑を終結いたします。

それでは、技術家庭科技術・家庭（技術分野）について採決いたします。

本件について、発行者名を読み上げますので、賛成の委員の挙手を求めます。

東京書籍。

（賛成者挙手2名）

教育図書。

（賛成者挙手なし）

開隆堂出版。

（賛成者挙手2名）

東京書籍が2人、開隆堂出版が2人ということでございます。

私は、東京書籍が、子どもたちが学習の課題に応じてまとめられている使いやすさがあると思っておりますので、東京書籍に票を入れさせていただきます。

よって、技術家庭科技術・家庭（技術分野）の教科用図書につきましては、東京書籍に決定いたしました。

続いて、技術家庭科技術・家庭（家庭分野）について審議を行います。

細部説明を求めます。

高井指導室長。

○高井指導室長 技術家庭科技術・家庭（家庭分野）については、第1順位、東京書籍、第2順位、開隆堂出版、第3順位、教育図書という推薦をいただきました。

東京書籍につきましては、「小学校での学習と関連づけられている。」「教科横断的な内容が扱われている。」「解説メモやキーワードなどが使いやすい。」

開隆堂出版につきましては、「学習の目標が示されている。」「調理の手順やレシピが分かりやすく、参考にしやすい。」

教育図書につきましては、「資料が詳細で、イラストや写真が豊富である。」

以上が、採択検討委員会の所見でございます。

○柿本教育長 細部説明が終わりました。

ご意見をいただいてまいりたいと思います。

前田委員、お願いいたします。

○前田委員 東京書籍は、小学校での学習とか、他教科の内容とのつながりを考慮しているの、学習を進めやすいのではないかと思います。

以上です。

○柿本 森園委員、お願いいたします。
教育長

○森園 まず、開隆堂出版でございます。各単元、興味・関心を高められる工夫
委員 がしてあります。特に調理のレシピ、調理方法がこれからの参考になります。
また、幼児期等の写真が非常に大きく出され、癒やしを持ちながらも
学習の効果を上げておると思います。

次に、東京書籍でございます。たくましく社会を生きる力をベースに、
社会生活の中で課題や実践が多く取り扱われており、幅広い学習が進めら
れております。

以上でございます。

○柿本 ありがとうございます。
教育長 小松委員、お願いいたします。

○小松 開隆堂出版ですが、学びを実生活につなげるための工夫が非常にされて
委員 いるなと思いました。調理の手順やレシピも非常に分かりやすく、参考
になることが多いと感じました。

以上です。

○柿本 ありがとうございます。
教育長 青蔭委員、お願いいたします。

○青蔭 まず、開隆堂出版でございます。「話し合ってみよう」「やってみよ
委員 う」「考えてみよう」「発表しよう」というこの気持ちの切替え、ここを
非常に進められるように子どもたちに教えていただいているように思っ
ております。

それから、東京書籍でございますが、かながわ教育ビジョンにございま
すが、「たくましく生きる力」とこれから「社会とかかわる力」、ここに
非常に目標として展開して、子どもたちに分かりやすくなっているかなと
思いました。

○柿本 ありがとうございます。
教育長 ほかにご意見よろしいでしょうか。

ほかにないようでしたら、質疑を終結いたします。

それでは、技術家庭科技術・家庭（家庭分野）について採決いたしま
す。

本件について、発行者名を読み上げますので、賛成の委員の挙手を求
めます。

東京書籍。

（賛成者挙手1名）

教育図書。

(賛成者挙手なし)

開隆堂出版。

(賛成者挙手3名)

ありがとうございました。

開隆堂出版が賛成3人ですので、技術家庭科技術・家庭（家庭分野）の教科用図書については、開隆堂出版に決しました。

続いて、外国語英語について審議を行います。

細部説明を求めます。

高井指導室長。

- 高井指導室長 外国語英語につきましては、第1順位、三省堂、第2順位、東京書籍、第3順位、光村図書出版、以下、新興出版社啓林館、開隆堂出版、教育出版という推薦をいただきました。

三省堂につきましては、「小学校での学習との接続がスムーズに行える。」「アクティビティが充実している。」「文字が見やすく表記されている。」「学習内容の分量が適切である。」「生徒を飽きさせない工夫が盛り込まれている。」

東京書籍につきましては、「生徒にとってなじみやすい。」「教科横断的な内容を扱っている。」「CLILに対応した内容が充実している。」

光村図書出版につきましては、「3年間を通した学びが構成されている。」「アクティビティが充実していた。」「学習の流れがスムーズである。」

新興出版社啓林館につきましては、「1単位時間で1ページの学習計画が立てやすい。」「各領域のバランスが良い」

開隆堂出版につきましては、「導入部分においてコミュニケーション活動が図りやすい。」

教育出版につきましては、「学習内容が多様である。」

以上が、採択検討委員会の所見でございます。

- 柿本教育長 細部説明が終わりました。

ご意見を伺ってまいりたいと思います。

前田委員、お願いいたします。

- 前田委員 小学校とのつながりについては、各社とも配慮されていると思いましたが。

その中で、学習内容の分量が適切であり、アクティビティが充実している三省堂がいいのではないかと思います。

それから、東京書籍ですが、東京書籍は、生徒になじみのある取り組みやすい内容が多く取り扱われていて、これもいいのではないかと思います。

以上です。

○柿 本 教育長 ありがとうございます。

森園委員、お願いします。

○森 園 委員 今、前田委員もおっしゃったように、各社小学校のつながりが非常に配慮されて、つながりを感じます。

まず、三省堂でございますが、分かりやすく、全体に文字が見やすく、これがとても大切かと思ひまして、取りかかりの意欲を促します。また、文法が分かりやすく取り入れられているということも配慮を非常に感じます。

次に、東京書籍でございます。課題が生徒の興味を持たせるよう工夫されていると思ひます。また、英語学習とともに世界的視野の広がりも工夫されていて、生徒が学習とともに、いろいろな方面で意欲を高めま

す。

○柿 本 教育長 ありがとうございます。

小松委員、お願いします。

○小 松 委員 まず、三省堂ですが、もちろん文法も大事ですが、話すこと、聞くことをしながら、文の構造や文法を学習していく、そのようなスタイルに少し最近、英語の授業が変わってきているように思うのですね。その中で、三省堂がやはりそこら辺がすごく整理できていて、整理されて構成されているなと感じました。

あと、本文ももちろんそうですけれども、付録が非常にやはり充実していて見やすいと感じました。

続きまして、新興出版社啓林館ですが、ユニバーサルデザインというのはもうどこも、皆さん、各社がもう考慮して作っていただいているのですが、書体の使い方がとても良くて、見やすさを感じました。

以上です。

○柿 本 教育長 ありがとうございます。

青蔭委員、お願いいたします。

○青 蔭 委員 東京書籍でございますが、やはり、委員皆さんのおっしゃるとおり、小学校からの導入部が非常にスムーズにできていて、それから、今日的課題、今何が大事だと、それから生徒の知的好奇心、これから子どもたちにとって何を学んだほうがいいのかということ子どもたちに、いやが応に

も子どもたちに知らしめていただけるかなと思います。

三省堂でございますが、大変手慣れた教科書でございますが、生徒を飽きさせない、次から次へと行く展開が非常に興味を覚えました。

以上であります。

○柿 本
教育長

ありがとうございました。

他にご意見よろしいでしょうか。

ほかにはないようでしたら、質疑を終結いたします。

それでは、外国語英語につきまして採決いたします。

本件について、発行者名を読み上げますので、賛成の委員の挙手を求めます。

東京書籍。

(賛成者挙手なし)

開隆堂出版。

(賛成者挙手なし)

三省堂。

(賛成者挙手4名)

ありがとうございます。

三省堂が賛成全員ですので、外国語英語の教科用図書につきましては、三省堂に決しました。

続いて、特別の教科道徳について審議を行います。

細部説明を求めます。

高井指導室長。

○高 井
指導室長

特別な教科道徳につきましては、第1順位、光村図書出版、第2順位、東京書籍、第3順位は教育出版、以下、学研教育みらい、日本文教出版、そして、廣済堂あかつきと日本教科書が同位という推薦をいただきました。

光村図書出版につきましては、「3シーズンに分けられ、生徒が学習しやすい。」「巻末のシートが工夫されている。」「1年間の学びの方向性が分かりやすく示されている。」「各ユニットがしっかりと構成されている。」

東京書籍につきましては、「エンカウンターや話し合いなど、多様な授業構成を設定することができる。」「巻末資料など、生徒同士の意見交流がしやすい。」「考える道徳につながる内容構成となっている。」

教育出版につきましては、「今日的課題を十分に取り扱っている。」「生徒にとって興味を引く内容となっている。」「全体的な構成が見やすくなっている。」

学研教育みらいにつきましては、「挿絵や写真が生徒の興味を引く内容となっている。」「巻末が工夫されている。」

日本文教出版につきましては、「考えを深める内容が充実している。」「バランスの良い内容となっている。」

廣済堂あかつきにつきましては、「深い学びが実現できるよう工夫されている。」

日本教科書につきましては、「今日的課題について、生徒が直接的に考える内容となっている。

以上が、採択検討委員会の所見でございます。

○柿本
教育長

細部説明が終わりました。

ご意見を伺ってまいりたいと思います。

前田委員、お願いいたします。

○前田
委員

光村図書出版は、心情の変化が分かるようなワークシートが用意されるなど、使いやすく工夫されていると思いました。

それから、教育出版については、身近な人物とか、今日的な課題を取り扱っているところがいいと思いました。

以上です。

○柿本
教育長

ありがとうございました。

森園委員、お願いします。

○森園
委員

各社挿入されたストーリーが本当に心に訴え、また、考える力を促しております。よかったですと思います。

まず、光村図書出版に関しましては、学習が3期シリーズに分けられて、テーマが決められ、学習しやすく、理解が深められたと思います。また、提示されているストーリーが短く、よりポイントがつかみやすい構成となっております。生命を基軸に、自己を高める学習が構成されている。大変良いと思いました。

東京書籍でございます。道徳としての考える学習の内容の構成が非常にすばらしいと思います。学びの基礎が発達に応じて分けられている。また、「いじめ問題ユニット」「生命尊重ユニット」が設定されて、これがポイントとなり、大変よかったですと思います。

以上でございます。

○柿本
教育長

ありがとうございました。

小松委員、お願いします。

○小松
委員

学研教育みらいですが、生命について多様な教材を用いていて、深く考え、議論できるような工夫がされていると感じました。

光村図書出版ですが、生徒の成長を考慮した年間構成となっていて、学

びの方向性が非常に分かりやすく示されていると思いました。

以上です。

○柿本 教育長 ありがとうございます。
青蔭委員、お願いします。

○青蔭 委員 まず、光村図書でございますが、委員の方々おっしゃるとおりに、3シーズンに分けられて、生徒が非常に学習しやすいということを感じました。それから、各ユニットが構図されていて、これも私が、非常に次から次へということを考えていかれる。

東京書籍でございますが、非常にいじめ問題、命の大切さということを大きく扱っていただいて、これもいい教科書だと思いました。

以上であります。

○柿本 教育長 ありがとうございます。
ほかにご意見よろしいでしょうか。

ほかにはないようでしたら、質疑を終結いたします。

それでは、特別の教科道徳について採決いたします。

本件について、発行者名を読み上げますので、賛成の委員の挙手を求めます。

東京書籍。

(賛成者挙手1名)

教育出版。

(賛成者挙手なし)

光村図書出版。

(賛成者挙手3名)

ありがとうございます。

光村図書出版が賛成3人ですので、特別の教科道徳の教科用図書につきましては、光村図書出版に決しました。

これで全ての令和3年度使用中学校教科用図書の採択が終了いたしました。

最後に、委員の皆様から何かご意見がありますでしょうか。

青蔭委員、お願いいたします。

○青蔭 委員 失礼いたします。

今日までこのテーブルの上に乗る前に、あまたの方のご協力を得まして、また、市民からも貴重なご意見を頂戴いたしまして、ただいま各教科の教科書が採択されました。

これから、この教科書を基に先生が十二分に読み込んでいただいて、咀嚼して、子どもたちに、生徒たちに授業展開をしていただきたいと思います。

す。

それから、例年になく大変大きな世界的な問題がございます。新型コロナウイルス感染症の影響が、今までの私たちの学習に対する見方、考え方、思考法につきまして、大変思うように進みません。

その中で、この道徳という教科は特別の教科になっておりますが、非常にここを少し力入れていただいて、授業が1時間でもできる喜び、教育をできる喜び、受ける喜び、これを今まで以上に、これから各都道府県で感染者数も日増しに増えておりまして、非常に危惧される毎日でございます。ぜひ、学校の現場におかれまして、先生方が1時間1時間というものを大事にして、子どもたちに教育をしていただきたい。

また、この2020、コロナ時代だと、何年か、10年かたった後にそんな言葉が受けられないように、子どもたちにも先生から非常に丁寧に教育を進めていただきたいなと思います。ぜひ、教育長から、学校長並びにいろんな会議のときにお伝えいただきたいと思います。

ここまで教科書が決まってくるまでにあなたの方々の大変なお力をいただきました。教育委員がこの教科書を、今回は教育の面から、各家庭に自分の声でいただきたいということで、教科書を家庭にお配りいただきまして、十二分に読み込むことができました。これも今までないことでございまして、これも新型コロナウイルス感染症の影響が生み出した産物かと思えます。

私は、恐れることが大事でございますが、でも、きちっと予防すれば、防げるものは防げます。ぜひ、教育ということは、子どもたちにとって生きる力と、本当にこれでいいのか、このことが正しいのかということ判断材料にするためには、教育、子どもたちの頭の中でこれを一步一步、一時間一時間、培っていくことによりまして、情報を分析するという力、それから本当にこれでいいのかと思う心、これをぜひ中学校3年間の間に学び取っていただきたいと思えます。

我々教育委員はここに座って採択をさせていただきましたが、ここまでにお運びをいただいた方々に深く感謝の意を申し上げたいと存じます。今までのこと、ありがとうございました。

以上であります。

○柿 本
教育長

どうもありがとうございました。

◎閉 会

○柿 本 以上で、本日の日程は全て終了いたしました。
教育長 これにて、教育委員会 7 月定例会を閉会いたします。

閉会 午前 11 時 46 分